



参加人数:32人(一般参加者:15人/ビジョン委員:12人/講師&事務局:5人)

コース:兵庫県立六甲山ビジターセンター及び周辺近辺

開催テーマ:知っているようで知らない六甲山の開発や治山の歴史を学びませんか？

「六甲山の歴史はこうして始まった」と題する森地一夫氏の講演は、神戸に住んでいる人でも知っているようで知らない、現在の六甲山になるまでの色々な話で溢れており、明治時代の外国人による外人村の形成から始まった六甲山開発の歴史は、大変おもしろく興味深いものでした。また、山頂近辺の見過ごされている開発の遺構巡りも正に歴史探訪ウォークの名前の通りのものでした。

山田裕司氏の講演「六甲山における治山の歴史」も、これまで六甲山であったたくさんの災害の経験があって、そこから学んで実践してきた防災の知恵や実績のこと、更に治山と砂防の役割分担のこと等を、解りやすく話してもらったと感じました。

こういう活動によって、少しでも多くの人に六甲山をより身近なものに感じてもらい、日本でも珍しい都市山としての六甲山という存在を、もっとみんなに知ってもらいたいものです。



森地一夫氏による講演



歴史探訪ウォーク



山田裕司氏による講演



集合写真